

令和 8 年 8 月 7 日

川岸 貞利 議長 殿

視察報告書

公明党議員団

堺谷 裕 谷口美保子

日 時： 令和 8 年 8 月 5 日（水）14 時～15 時 30 分

場 所： 和歌山県和歌山市七番町二十三番地

研修所名： 和歌山市役所

目 的： 全国の空洞化都市に先駆ける“和歌山市モデル”

～空き家改修×脱炭素で創るまちなか再生戦略～について

講 師： 市民環境局

河嶋 健氏 天野 秀隆氏 中村 英人氏

視察報告

和歌山市の脱炭素先行地域「和歌山市モデル」

1. 概要

和歌山市は、環境省の「脱炭素先行地域（第 7 回）」に選定されました。

地方都市共通の課題である「都市の空洞化」に対し、「空き家改修×脱

炭素」を掛け合わせた独自の再生戦略(和歌山市モデル)を推進しています。

2. 戦略の3つの柱

- ・ 断熱 PPA による建物再生

- 都市再生推進法人等が中心となり、空き店舗の改修(断熱・省エネ・耐震)を一体的に実施。
- 所有者のメリット: 自己資金ゼロで老朽化した建物の資産価値が向上。
- 入居者のメリット: 初期費用を抑えて高機能な店舗に出店可能。

- ・ 再エネの地域循環

- まちなかでは困難な発電を、郊外の公共施設やニット工場(地場産業)で行い、その電力を市駅周辺などの需要エリアへ供給。

- ・ 電動モビリティによる回遊性向上

- EV 船や電動自転車、グリーンスローモビリティを導入。
- 歩いて楽しめる「ウォーカブルなまちづくり」を推進。

3. 期待される効果

- ・ 環境・経済: 累計約 8.2 万 t の CO2 削減を見込み、域外へ流出していたエネルギー代金を年間約 2.4 億円抑制。
- ・ 社会: 商店街(北ぶらくり丁等)の空き店舗数を 51 件から 15 件に削減することを目指す。
- ・ 組織: 令和 8 年 4 月に「脱炭素社会推進課」を新設し、民間専門人材を部長級で登用するなど、強力な実行体制を構築。

視察の感想

和歌山市の取組で最も特筆すべきは、「脱炭素を目的ではなく、空き家対策という地域課題を解決するための手段」として使いこなしている点です。

特に「断熱 PPA」の仕組みは、環境負荷を下げつつ「建物の価値を高める」という実利を所有者とテナント双方に提供しており、持続可能な都市再生の非常に合理的な形だと感じました。

また、行政が 13 もの民間団体を「都市再生推進法人」に指定し、現場の知見を全面的に信頼して連携している姿勢は、官民共創のモデルケー

スとして大変参考になりました。単なる環境対策を超え、街の活気を取り戻そうとする強い熱意を感じる視察となりました。